

課題対応取組み報告書

名称	城東・放出地域包括支援センター
提出日	令和 6 年 6 月 12 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	アフターコロナの時代に応じた新たな地域福祉・ネットワークの構築	
地域ケア会議から 見えてきた課題	①地域で孤立していた高齢者が認知症を発症したため生活が困窮し、支援介入を進めるが拒否がありスムーズに支援を進めることができないことへのアプローチが必要。 ②家族が何らかの精神疾患・障がい・パーソナリティの問題から支援介入拒否があり、関係機関や地域との協働で支援体制を整えることが必要。 ③高齢者と地域との接点であった集い場が減ったままの状態で、地域役員やボランティアなどの担い手不足で再開の目処が立っておらず地域福祉の拠点不足を補う必要がある。	
対象	地域住民、地域役員、関係機関 (行政、各サービス事業所、各医療機関等)	
地域特性	諏訪地域は、高齢者数、認知症高齢者の増加や相談も増加している。東中浜地域は高齢化率は区内平均に近く、放出地域では高齢化率が20%過ぎ、今福南地域では高齢化率が40%超えている。 どの地域も数字の差はあるが、ひとり暮らし高齢者で身寄りなく認知症や精神疾患などから理解力の低下があり支援の介入困難ケースが散見される。	
活動目標	①認知症や高齢者自身の精神疾患等に対する予防および対応方法などの啓発活動を行う。 ②複合的な課題を抱えるケース対応に向けた地域・支援機関との連携強化を図る。 ③高齢者と地域との接点であった集い場の再構築を行う。	
活動内容 (具体的取組み)	活動①「認知症や精神疾患に対する啓発活動」 ・地域での認知症サポーター養成講座の実施。 スーパーマーケット (職員対象)、区民向けサポーター養成講座、キッズサポーター養成講座 ・各地域での夏祭りで「認知症クイズ」を実施。各連合 計600名が参加。 ・4包括及び支援機関団体連携による「認知症フェスタ」を開催。参加人数：100名 活動②「複合的な課題を抱えるケース対応に向けた地域・支援機関との多職種連携」 ・区の保健師と同行訪問を行い、地域における保健課題を共有。「まちの保健室」に共催として参加。 ・権利擁護連絡会の開催。 ・家族ふらっとサロンの開催。 ・東中浜地域活動協議会「第12回発達障害を知ろう！勉強会」の開催支援。 活動③「地域高齢者の集い場支援」 東中浜、放出地域において認知症予防活動を継続。今福地域においては地域協働で、プログラミング教室内で「スマホ教室」を定期開催した。放出、東中浜地域においても「オンラインふらっとサロン」を定期的に開催。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	活動①⇒ 地域住民や地域の民間法人に対し、認知症の疾病の理解と協力の推進の為に、認知症サポーター養成講座や講演会を実施し啓発活動に繋げる事が出来た。 活動②⇒ ケース対応の充実化に向けて地域や各関係機関とのネットワーク構築を図った。講座等により、多職種によるチームアプローチに必要な連携の強化と学びの機会に繋がった。 活動③⇒ 認知症予防活動やスマホ教室を通じて地域高齢者のコミュニケーションの活性化に繋がった。	
今後の課題	①認知症等による支援拒否ケースにおいては本人の自己決定を尊重する立場もあり対応方針に悩むこともある。 ②複合的な課題を抱えるケースは増加傾向にあり、地域関係者と支援機関とのネットワークを構築する。さらに他機関連携により支援活動を進めるため、地域包括支援センターがその結び役としての役割を担う必要がある。 ③再開している地域の集い場は多いが担い手不足の解消に、福祉事業所も地域住民として活動に参加するなど社会全体で取り組む事が求められる。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月4日(木)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント	地域住民や地域の民間法人に対し、認知症の疾病の理解と協力の推進のために、認知症サポーター養成講座や講演会を実施し啓発活動に繋げる事が出来たことや、ケース対応の充実化に向けて地域や各関係機関とのネットワーク構築を図り、多職種によるチームアプローチに必要な連携の強化と学びの機会に繋がっている。特にスマホ教室はニーズが高いものであり、これからも必要な支援を提供してほしい。	
* 今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。		